

地理の学習指導要領の改訂について

小 倉 幸 春

新制高等学校の発足と同時に出発した高校地理教育は、20年余の齢を数えた。昭和38年度より実施の大改訂、すなわち「人文地理」から「地理」と改称されて再出発してからでさえもう5カ年を経過した。あたかも高校学習指導要領の改訂の時期が近づいてきた。このときにあたり、現場教師として、高校地理教育の経験から、改訂について愚見を述べてみたい。

昭和36年発表の学習指導要領は、昭和31年発表の指導要領を大改訂して現在に到っている。すなわち、教育課程の面では

- 1 「人文地理」から「地理A」「地理B」と改称し、2コースとなった。
- 2 選択科目から必修科目と規定した。
- 3 高学年履修から第一学年履修に指定した。
- 4 3-5単位から、地理B4単位・地理A3単位に縮小した。

また、学習内容の面でも、「それほど大きく変わっていない」（文部省『解説』）といいながら、かなり変わった。いま、両者を対比すると、つぎのようである。

地 理 B (36年改訂)

- 1 地域と社会生活
地理的視野の拡大と地理思想の発達
社会生活の地域的相違
自然環境と社会生活
- 2 地 図
地図の種類と用途（統計地図を含む）
読図と作図
大縮尺の地図では集落立地、土地利用
と地形との関係など
- 3 自然環境
陸地・海洋の位置と形状
世界の平地・山地
世界の海洋・陸水
世界の気候区と植物分布
日本の自然環境の特色
- 4 農 牧 業
世界の農牧業生産様式の発達とその地域
的特色
世界の農牧地域と農畜産物の需給
日本の農業の性格とその地域的特色
世界および日本の食料問題

人 文 地 理 (31年改訂)

- 1 人間と環境
- 2 人間生活に大きくはたらく自然条件
世界の気候区
世界の大規模な地形
世界のおもな海域と日本の周囲の海域
- 3 農 牧 業
農牧生産様式の発達と類型
世界のおもな農牧地域と農畜産物の需給
日本の農業の性格と地域的特色
世界および日本の食料問題
- 4 林業・水産業
林産・水産資源の分布と開発
林産・水産資源の保護
日本の水産業と漁場に関する諸問題
- 5 鉱 工 業
世界および日本の動力資源と鉱産資源の
分布と開発
主要工業の立地
世界および日本の工業地域
日本の動力および原料問題
おもな鉱産物と工業製品の需給

- 5 林業・水産業
 - 世界および日本の林産資源の分布と開発
 - 世界の水産資源の分布と開発
 - 日本の水産業と漁場に関する諸問題
- 6 鉱工業
 - 世界および日本の動力資源と動力問題
 - 世界および日本の鉱産資源の分布と需給
 - 世界の主要工業と工業地域
 - 日本の工業の性格とその地域的特色
- 7 国土の開発と保全
 - 資源の計画的利用
 - 防災と資源の保全
 - 水の利用と統制
 - 世界および日本のおもな総合開発地域
- 8 村落・都市
 - 世界および日本の農山漁村
 - 世界および日本の都市
 - 都市と農山漁村との関係
 - 都市問題と都市計画
- 9 交通・貿易
 - 交通の発達と世界の政治・経済
 - 世界および日本のおもな交通路とその地域的特色（日本の輸送問題を含む）
 - おもな国々の貿易の特色
 - 日本の貿易の特色と課題
- 10 人口
 - 人口密度の地域的特色
 - 世界および日本の人口増加・人口移動
 - おもな国々の人口構成
 - 日本の人口問題
- 11 人種・民族
 - 世界の人種
 - 世界のおもな言語および宗教と民族
 - 世界の文化圏
 - 民族と国家
- 12 国家・国家群
 - 国家と国家領域
 - おもな国家・国家群（西ヨーロッパ諸国，アメリカ合衆国・カナダ，ラテンアメリカ諸国，ソ連・東ヨーロッパ諸国，中国・朝鮮，インド・東南アジア諸国，
- 6 総合開発
 - 世界のおもな国々の総合開発計画
 - 日本の総合開発計画の実情とその特殊性
- 7 人口
 - 居住地域の拡大とその限界
 - 世界の人口密度の地域的相違と人口支持力
 - おもな国々の人口構成
 - 人口増加と人口移動
 - 日本の人口問題
- 8 集落
 - 集落の成立と発達
 - 村落と都市の，機能と地域的特色
 - 世界的大都市の性格
- 9 交通
 - 交通の発達と世界の政治・経済関係
 - 主要交通路とその機能
- 10 貿易
 - 世界の政治・経済関係に占める貿易の意義
 - 世界のおもな国々の貿易の特色
 - 日本の貿易の特色と課題
- 11 国家と国家群
 - 国家と国土
 - 国境と国境問題
 - 国家と民族・民族問題
 - 世界の国家集団と国際連合
 - 世界の動向と日本の立場
- 12 地図
 - 地図の種類と利用
 - 読図と作図
- 13 野外調査

アラブ諸国, アフリカ諸国, オセアニア
諸国, その他)

世界の動向と日本

高校地理教育では, 限られた時間の範囲内において, 網羅主義的に寄せ集められた。過大な教材内容を取り扱わなければならない。広く, 浅く, クイズのような学習指導であると評しなければならない。深くやれば全体が終了しない。各項目の有機的な結合にも限度がある。こま切れ学習を馳け足で飛ばさねばならない現状では, 教師も生徒も不満が残るだけである。

内容の精選が考えられなければならない。教材内容の過大化は, 地理に限らない。社会科の他の科目もそうだし, また社会科以外の教科も同じ悩みを抱いている。この傾向に対して, 教育の近代化が叫ばれ, 教材内容の構造化が考えられているが, 現実には逆に過重化を増しているにすぎない。

そこで, 教材内容の精選化の一手段として, 小学校・中学校との一貫性に注目したい。中学校との重複をできるだけ整理する着想を検討してみる。昭和43年6月に「中学校の教育課程の改善について」の答申が出, 新しい方向が示された。中学校社会科の地理的分野では「地誌の学習に重点をおいて, 日本や世界の諸地域の変化発展についての理解を深めること。そのため, 現行の内容の5つの大項目(郷土, 日本の諸地域, 全体としての日本, 世界の諸地域, 全体としての世界)を4つの大項目(たとえば, 身近な地域, 日本とその諸地域, 世界とその諸地域, 世界の中の日本)に要約すること。」をうたっている。これは「内容精選の実をあげるため」「現行の大項目のうち『全体としての日本』と『全体としての世界』とは, それぞれ『日本の諸地域』, 『世界の諸地域』のまとめとしての役割をもっているが, 取り扱いがむづかしく, とかく『諸地域』との関係が遊離したものになりがちであり, 行き過ぎて系統地理的な学習にはしる傾向もあった。」と解説されている。(文部省中学校教育課『新しい中学校教育課程』)「系統地理的背景を無視」するものでない(同)が, これを高校地理にできるだけ移す含みとも勘ぐれよう。ともあれ中学校では, 現行以上に地誌学習中心となるとみてよい。

現行中学校社会科地理的分野における学習内容は, 多岐にわたる。これを現行高校地理の学習内容と対照してみると興味深い。そこで, 本校へ入学する生徒のうち最多数の出身校の使用教科書と, 本校の使用教科書とをくらべ, そのうち地理用語と地名とを取り上げてみた。これを一覧して気付くことの一つに, 系統地理的学習の系譜に属するとみられる地理用語については, 高校で新たに学習するものの量が多いことがある。また, すでに中学校で扱われる用語でも, 中学校では取り扱いが浅薄なものが多い。これに反して, 地誌の学習の領分に属する地名については, 主要なものは中学校で出ていて, 高校で新たに扱う地名は特殊なものが多い。たとえば, 地理用語の説明例として出てくるものなどである。基本的地名の学習は中学校までに終わっているとみられる。

前期中等教育の段階で, 地誌の学習に重点がおかれているのであるから, 後期中等教育では, 系統地理の学習に主力がおかれるのは当然であるとの帰結となる。高校地理の「おもな国家・国家群」の学習には「国家と国家との間, 国家と国家群との間および国家群と国家群との間における政治的, 経済的関係のおもなものについては, 地理的位置, 天然資源, 産業の発達程度, 生活水準, 民族構成などの諸条件がどのように働いているかを考察させて, 現代の世界における国家群形成への動向などを理解させる」ことになっている。これは新たに地誌学習が添加されたものともみられるため, 全体として高校地理の学習の負担過重化の大きな要因となっている。内容の精選の観点からは, この項目の削除が大きく浮び上がってくる。中学校の新課程において現行以上に地誌中心の学習がおこなわれるとすれば, 時間的な制約のある高校地

理において、さらに地誌の学習を重複させることは、中高一貫した地理教育の立場からみて、効果的ではないと考えられる。

ただし、高校の地誌学習の全面的除去には、現場教師から理論的にも心理的にも強い抵抗がある。(全国地理教育研究会『地理の広場』第3号)

つぎに、系統地理の理解を主とした地理教育は、項目羅列的な雑然とした学習内容となる傾向をもつ。丸暗記を強制するつまらない授業に墮するおそれが多分にある。現在使用している高校地理Bの教科書に出てくる地理用語を通観して、その数量の多さとともに、種々雑多なことに驚ろく。もっとも、本校で現在使用している教科書について、世界史が約1,500、日本史が約2,000の人名、事項をかかえており、この外にそれぞれ年代がつけ加わるのにたいし、地理Bでは地名、事項合わせて約1,500であるから、けっして多すぎるということはない。歴史には時間的完結という必然性がある項目の多さに納得できる面もないこともない。しかし地理の場合には寄せ集めの感じがする。すべて網羅していればまだしも、例えば商業がない。水産業や林業とくらべて無視してよい事項とは考えられない。便宜主義的な学習内容であることを不問にしても、これらのすべての教材内容を限られた授業時数のなかで消化するとすれば、表面的な理解で済ませるしかない。とても生徒の身についた生きた知識となるまで教えこめない。試験が終わればうたかたのように消え去るであろう。系統地理の学習において、教材内容の精選、構造化が考えられなければならない。

この高校地理教育の構造化を考察するには、さかのぼって教育の目標を検討しなければならない。半義務教育化した高校教育において、抽象的に市民・国民としての一般教養としての地理が必要であるといえても、現実的にはそれだけでは釈然としない。たとえば、人間工学的観点からの教育の多様化路線を肯定するとすれば、地理教育にも進路志望に応じた実用的学習指導が生れることになる。にもかかわらず、将来の進路が多方面にわたる普通科課程においては、結局現行指導要領に示された目標にほぼ集約されるであろう。

このようにみてき、論じてくれば、結論は蛮勇をもって現行の学習内容を整理・省略しなければならない、ということになる。どれも捨て難いし、いずれも除きにくい。この耐え難いことを断行し、しかる後より深い学習指導をしなければならない。

そこで高校地理の改訂について、一つの試案を提出してみたい。——教育課程、すなわち単位数・履修学年・必修制については現行通りとして——高校地理は、学問的専門知識・技能の修得ではなく、日本国民としての地理的一般教養および職業人としての実用主義的な知識・能力・態度を養うことを目的とし、つぎの項目を学習する。

- 1 自然と農牧業
- 2 資源と工業
- 3 読図と土地の利用
- 4 人口と都市
- 5 南北と東西

なお、5項目にまとめた理由は、学校行事、とりわけ学期区分に関連づけたためである。3の読図と土地の利用は、とくに大縮尺の地図を使用し、小地形と土地利用、集落立地との関係などを、日本地誌的に取り扱いたい。夏休み後に置いた理由は、入学早々の新入生にとって、地図になじみ難いこと、粗より精への法則から産業的予備知識を1、2での学習の成果として利用できることにある。またつぎの4における都市についても徹視的取り扱いが出るから、生徒の学習上の感覚が円滑に移行できると考えるからでもある。

以上、大方の叱正を仰ぎたい。

中学高校の地理学習事項

○印は高校教科書のみ

太字は高校中学教科書共通

他は中学教科書のみ

地 理 用 語

(あ) ○IMF **アイヌ人** アウトバーン ○亜鉛 ○揚繰り網 アジア-アフリカ国家群
アジア式農業 **アジア式稲作農業** **アジア式畑作農業** アジア人種 テジアハイウエー計画
亜熱帯 ○アネクメネ ○油やし **アフリカ人種** ○アフリカ文化圏 ○アメリカンデアン
アメリカ人種 ○亜麻 ○アリアン人種 ○アルプス造山運動 ○アルプス-ヒマラヤ造山帯
アルプス-ヒマラヤ山地帯 ○アルファルファ **アルミナ** **アルミニウム** ○アレキサンダ
ー大王 ○あわ ○安定陸塊 ○アングロアメリカ文化圏

(い) **EEC** ○硫黄 ○いか ○ECSC ○イギリス連邦 **イスラム教** ○イスラム文
化圏 **い草** **緯線** 市 いちご ○糸魚川-静岡線 一毛作 ○一本釣り ○市場町 ○井戸
灌漑 **緯度** ○移動式焼畑農業 ○伊能忠敬 ○衣服工業 **移牧** **移民** ○入母屋 **いわし**

○印刷工業 ○インディアン ○インド文化圏

(う) **雨季** 牛 牛市 うなぎ **馬** 裏日本式気候 ウラン鉱 ○雨緑林 **運河**

(え) 永久租借権 **永世中立国** **衛星都市** 役牛 **エイトフ図法** ○エクメネ ○エスキモ
ー ○エスタンシア ○エスチュアリ **えぞまつ** **エッケルト図法** ○えび えびす講 ○エ
ネルギー資源 ○FAO ○ECAFÉ ○EFTA ○縁海 **沿岸漁業** ○塩湖 **園芸農業**
○遠郊農業 ○円錐火山 ○円錐図法 ○沿岸州 ○えん麦 煙害 **塩田** ○円筒図法
遠洋漁業

(お) **オアシス** ○オアシス灌漑農業 ○OEEC ○OECD ○OAS **大麦** ○小笠
原気団 **表日本式気候** ○オホーツク気団 ○溺れ谷 **オリーブ** **親工場** **親潮** ○温室栽培
温泉 **温帯** ○温帯気候 ○温帯高山気候 温帯季節風気候 ○温帯多雨気候 ○温帯東岸気
候 ○温帯夏雨気候 **温帯林** 卸売商圏 ○隠田百姓村

(か) 回帰線 **加工貿易** **海淵** **海岸砂丘** **海岸段丘** **海溝** ○海岸島嶼人種 ○階級区分
図 ○回教 ○外作用 **海上交通** ○海図 ○開析海岸平野 ○開析扇状地 ○塊村 ○街村
○海底地形 **海底油田** **海底炭田** ○海面漁業 **海洋性気候** ○海食 **海流** **外輪山** 家屋
○カカオ ○外来河川 ○化学繊維工業 **化学工業** ○化学肥料工業 **河岸段丘** かき ○花
卉 **華僑** ○家禽 ○学園都市 **火山** 火山帯 火山島 ○下刻作用 火山灰 ○火山灰台地
風向き ○かし **カースト制度** ○果樹栽培 ○家族労働 ○火主水従方式 ○過剰人口
○活火山 ○合掌造り **かつお** ○褐色森林土 ○褐炭 ○ガットGATT ○カトリック教
家内工業 ○カフカス系人種 ○かに ○過密ダイヤ ○カリ塩 **火力発電** **カルテラ** ○カ

ール ○カルスト地形 ○かかれい ○カレドニア造山運動 **灌漑** **灌漑農業** **乾季** 寒天
○柑橘類 ○間曲線 ○換金作物 ○環濠集落 ○関税 ○関税同盟 **観光保養都市** ○環礁
乾燥気候 ○幹線交通地域 幹線鉄道 干拓 ○乾燥限界 ○寒帯気候 ○寒帯大陸性気団
○環太平洋火山帯 ○環太平洋造山帯 環太平洋山地帯 ○簡單円錐図法 **関東ローム層**
○カンボ **寒流** 寒流魚 ○外帯 外港 ○合作社 ○渇水期 ○岩塩 漢民族

(き) ○生糸 **気温** ○気温の逆転 ○気温の遞減率 ○機械化農業 **機械工業** ○企業的大牧畜業 機業地 ○記号 ○気候因子 ○気候区 ○気候要素 ○季節的出稼ぎ ○季節労働者 **季節風** **北半球** ○北大西洋航路 ○気団 キナ **絹街道** **絹工業** ○きび ○キャベツ 郷土 機帆船 ○極地限界 ○共通語 ○強粘結炭 休火山 曲流 ○裾礁 **漁村** **巨大都市** **キリスト教** ○切妻 ○ギリシア正教 ○近畿圏整備計画 ○近郊農業

(く) **空港** ○空中写真 ○クライモグラフ ○栗色土 **黒潮** **桑** **桑畑** **グード図法**
○くす ○くど造 ○クローム ○軍事都市 軍港

(け) ○計曲線 ○経度 軽工業 ○経済林 ○ケスタ ○ケッペン ○ケルト語 ○原始的農業 原始林 **原子力発電** ○原料指向型 ○原始的交通地域 **兼業農家** ○ケブラチョ

(こ) ○高距限界 **航空交通** **小売圏** ○交易都市 ○公海 **工業国** ○工業衛星都市 **工業地域** **工業地帯** ○工業整備特別地域 **工業都市** **工業用水** ○工業用地 ○工業立地
○コーカサス人種 ○耕作限界 ○高山気候 ○構造地形 ○構造平野 ○耕作限界 **降水量**
洪水 ○降水量の偏異率 **高原** ○洪積世 ○洪積台地 **高速道路** ○交通都市 **交通問題**
黄土 **後背地(ヒーターランド)** ○後背湿地 五ヶ年計画 **コーヒー** 公有林 ○交通網完備地域 ○交通網発達地域 ○公用語 ○広葉樹林 ○こうりゃん ○香料 ○港湾都市
○古期造山帯 ○国営農場 ○国際開発協会 ○国際金融公社 ○国際復興開発銀行 ○国際捕鯨協定 ○国際河川 **国際連合** ○国際連盟 ○国際横メルカトール図法 **国際的分業** 国勢調査 国定公園 **黒土** 国道 ○国土開発 ○国土開発縦貫自動車道 ○国土総合開発
○国土総合開発法 ○黒土地帯 **国土地理院** ○国民 穀物 **国有林** 国立公園 ○ココヤシ
○国境 コプラ ○コペルニクス **小麦** ○小麦地帯 **米** ○コムーナ ○湖盆 ○雇用労働
○コルクがし **コルホーズ** ○コルジレラ山系 ○コロンプス ○コロポプラン **コンピナート** **合成繊維** ○豪族屋敷村 ○混合農業 ○混合林 混合林気候 ○COMECON
○小作

(さ) 栽植農業 在来工業 砂丘: **さけ** ○刺網 さつまいも **さとうきび** ○さば **砂漠**
砂漠気候 ○砂漠土 ○サバナ **サバナ気候** ○サービス圏 ○砂礫層 ○三角江 **三角州**
三角州平野 ○三角測量 **産業革命** **産業別人口構成** **珊瑚礁** 三寒四温 ○酸性土壌 ○散村 山村 **サンソン図法** **さんま** ○三圃式農業 ○産業用機械工業

(し) ○しい ○SEATO ○ジェット気流 **塩** ○潮境 ○潮目 ○敷網 ○市街地再開発 ○自給 ○自給的混合農業 ○自作農 **自然改造計画** ○自然灌漑 ○自然堤防 ○自然増加率 ○自然的増減 ○自然的国境 下請工場 下町 **死亡率** ○実測図 ○湿潤パンパ
○宗教都市 ○褶曲山脈 **集村** ○集団安全保障機構 ○集落 **私有林** **集約的農業** **縮尺**
○商品作物 ○食品工業 **宿場町** **出生率** **首府** **首都圏** ○荘園 ○小地形 ○商業都市
商業的穀物農業 **商圈** ○商業的混合農業 ○商業的農業 ○小縮尺の地図 商店街 除虫菊
○消費都市 ○商品化率 ○消費指向型 ○消費市場 ○初期定着農業 ○食肉加工 **植民地**

○助曲線 ○資源の保全 少数民族 シラス台地 ○新时期造山帯 ○新教 心射図法 ○浸食
新産業都市 新田 ○新田集落 針葉樹林 ○自治領 自動車 自動車工業 ○自動車専用道
路 ○寺内町 ○地盤沈下 ○自噴井 ジャがいも ○ジャングル 白蝶貝 重工業 重化学
工業 自由国家群 住宅都市 住宅難 社会主義国 シュート麻 城下町 昭和基地 ○醸造
工業 ○小気候 ○飼料 条里制集落 ○照葉樹林 ○準平原 ○深淵 真珠 ○人為的国境
○人種 ○人種差別政策(アパルトヘイト) ○人絹 ○人口移動 ○人工灌漑 ○人口構成
○人口圧 ○人口問題 ○人口ピラミッド ○人口分布図 人口密度 人工林 ○人造湖 人
造繊維 ○人文地理 ○楯状地 ○神道 ○森林気候 ○森林地帯

(す) ○垂直肢節 ○水平肢節 ○水上交通 ○水準測量 ○水産業都市 ○水産製造
○水産養殖 水半球 ○水稲単作地域 水力発電 水路式発電所 水主火従 ○すぎ ○図形
表現図 ○スコール ○すず スモッグ ステップ ○ステップ気候 砂浜海岸 ○ストラポ
ン スラブ人

(せ) ○生産財 ○生産都市 ○政治都市 ○生育限界線 ○正角図法 製塩業 西岸海洋
性気候 ○西岸気候 正距方位図法 ○正軸投影 ○正射図法 ○正積図法 製糸工業 製紙
工業 ○製糖工業 ○製粉工業 ○製材工業 ○生乳 ○正積方位図法 ○性別人口構成
○精密機械工業 ○精油工業 ○世界銀行 ○潟湖 ○赤色土 積雪量 石炭 ○赤鉄鉱
○赤道海流 ○赤道逆流 ○堰止湖 石油精製 石油化学工業 石油化学コンビナート ○石
油輸出国機構 OPEC 石灰岩 ○石灰岩台地 雪害 ○雪線 ○セム・ハム ○セメント工
業 ○繊維工業 ○扇央 專業農家 ○先進国 ○銑鉄一貫工場 浅堆 ○蘚苔類 ○専用船
○全米州機構 OAS

(そ) 霜害 ○草原 総合開発地域 ○壮年期 促成栽培 ○底引網漁業 ○側刻作用 粗
放的耕作 ソフホース 村落 ○造山運動 ○造船工業

(た) タイガ タイガ気候 ○大縮尺の地図 ○大地形 ○大都市型工業 ○大圏航路
○大鑛井盆地 ○大乘仏教 ○大豆 ○耐寒品種 ○堆石 台地 台風 ○大西洋西北部漁場
○大西洋北東部漁場 ○太平洋北西部漁場 ○太平洋北東部漁場 大農法 ○大洋底 ○大陸
横断鉄道 大陸性気候 大陸棚 ○大陸斜面 ○大陸氷河 ○大ロンドン計画 ○タウンシッ
プ 高潮 多角的農業 滝線都市 ○卓越風 ○蛇行 ○駄獣 ○卓礁 ○楯状火山 ○楯状
地 棚田 たばこ ○谷口集落 ○WTO ○多面体図法 ○多目的ダム たら ○タロいも
単位収量 単作地帯 単一栽培 タンカー ○単式火山 炭鉱都市 炭田 ○淡水湖 ○第一
次産業 ○第二次産業 ○第三次産業 ダム 段々畑 ○断層運動 ○タンゲステン 断面図
○断裂図法 暖流 暖帯林 暖流魚

(ち) ○地域格差 ○地域計画 ○地域的分業 ○チーク ○チーズ チェルノーゼム
○地殻運動 地下水 ○地球球体説 地形図 ○地形の輪回 ○地溝盆地 ○地図の種類
○地図のひずみ ○地勢図 ○地図投影法 千島海流 地中海性(式)気候 ○地方図 茶
○中緯度高圧帯 ○中央構造線 ○中央経線 ○中縮尺の地図 ○中心業務地区 CBD チュ
ートン炭 ○中世都市 ○沖積平野 ○住宅都市 ○街水 ○中立地帯 ○鳥趾状三角州
○潮流 ○地理的知識の拡大 ○地理的発見時代 ○地表水 ○沈水海岸

(つ) ○通信 ツンドラ ツンドラ気候 ○ツンドラ土 梅雨 津波

(て) 泥炭地 ○低開発国 ○低湿地 ○低落差発電 ○出稼ぎ 鉄鉱石 ○鉄鉱石専用船
○鉄鋼工業 ○鉄道交通 鉄道網 ○デービス ○寺百姓村 ○テラロッサ(テラロシヤ)
○てんさい ○天井川 天然ガス 天日製塩 天然林 ○デルタ 電源開発地帯 電力資源
○電気機械工業

(と) ○銅 ○投影法 ○東方見聞録 ○等温線 東海道新幹線 ○等角航路 統計地図
等高線 ○東岸気候 ○東西貿易 ○東西関係 杜氏 ○透水層 ○等値線図 ○島弧 ○と
うひ ○とうもろこし ○とうもろこし地帯 道路 道路網 特産 特定地域総合開発計画
○都市温度 都市計画 ○都市圏 ○都市の地域分化 ○都市問題 ○都心 ○土壤侵食 土
地利用図 ○土地利用計画 とどまつ ○都府県総合開発計画 ○トロール漁業 屯田 ○屯
田兵村 ○特惠関税制度 ○ドットマップ(点図) ○渡頭集落 ○となかい 鳥居前町
○ドリーネ 問屋

(な) ○内作用 ○内水面漁業 ○内陸砂丘 内陸国 内陸水路 内陸流域 ○内陸盆地
仲継ぎ貿易 灘 ○NATO ○鉛 ○南極海捕鯨 ○南北関係 ○南湾山系

(に) 二期作 二毛作 肉牛 ○日較差 にしん ○西ヨーロッパ文化圏 ○ニッケル
○二甫式農業 日本海流 乳牛

(ぬ) ぬるめ

(ね) ○熱赤道 ○熱帯雨林 ○熱帯雨林気候 ○熱帯海洋性気団 熱帯季節風気候 熱帯
気候 ○熱帯高山気候 ○熱帯栽植農業 ○熱帯モンスーン気候 熱帯林 ネグロ族 ○年較
差 ○年齢別人口構成 ○根古屋 粘結炭

(の) 農閑期 ○農業地域 ○農業の機械化 ○農業の集団化 農村 農繁期 のり

(は) ○背斜地 売薬 延縄漁業 ○バスコ・ダ・ガマ ○パーソロミュ・ディアス 畑作
農業 ○ハック耕 ○バーター制 ハム族 春小麦 ○麦小麦地帯 パルプ・紙工業 ○バリ
スカン造山運動 ○ハンマー図法 ○氾濫原 パオ

(ひ) ○被圧地下水 ○ひえ ○皮革工業 ○東アジア文化圏 ○東ヨーロッパ文化圏 干
潟 ○ピグミー 羊 ○非武装地帯 ひのき ひば 氷河 氷河湖 ○氷河堆積物 ○氷堆石
○氷食谷 ○氷食地形 氷雪気候 ○貧栄養湖 ヒンズー教 ヒンターランド ○ヴィンケル
図法 ○東ヨーロッパ友好協力援助条約WTO

(ふ) ○ファゼンダ フィヨルド ○フェーン ○フィン人 ○富栄養湖 ○フォッサマグ
ナ 不快指数 複式火山 副都心 武家屋敷 ○不透水層 埠頭 ○風土記 ○付属海 冬小
麦 冬小麦地帯 ○ブッシュマン ○プトレマイオス 仏教 ぶどう ○ブラーシュ プラン
テーション ○プランクトン ○フレミッシュ語 ○不連続線 ○プレーリー土 ○ぶり
○ブロック経済 分布図 分水嶺 ○フンボルト

(へ) 米作 ○平射図法 ○平面投影法 ○ヘカタイオス ○便宜図法 ○ヘロドトス
○編纂図 偏西風

(ほ) 方位 ○捧受網 ○貿易型 ○貿易都市 ○貿易の自由化 ○貿易風 貿易港 放牧
紡績工業 紡織工業 ○包蔵水力 保温折衷苗代 ○牧草 牧場 ○母船式漁業 ホップ
○ホッテントット ○ポドソル ○ホモロサイン図法 ○ポリネシア族 ボルダー ボンヌ図

法

(ま) 埋蔵 ○曲家 まぐろ ○マジヤール人 **ます まつ** ○マゼラン マニラ麻 ○マホガニー **マライ人種** ○マルコ・ポーロ

(み) **みかん** **水資源** ○水無川 ○水半球 ○水屋 ○みつまた ○密林 **南半球** ○名田百姓村 ○民有林 民族運動

(む) ○無煙炭 **無霜期間**

(め) ○迷路都市 **メスチゾ** ○メトロポリス ○メリノ種 **メルカトル図法** **綿花** ○綿花地帯 **綿工業**

(も) ○もみ モルワイデ図法 ○モレーン ○モンゴル系人種 ○モンスーン地域 **門前町** ○モンロー主義

(や) 野外観察 ○野外調査 ○焼畑 野生ゴム ○やぎ ○ヤク **野菜** ○ヤムいも 屋敷林 ○やませ 山ノ手

(ゆ) ○ユーカリ ○湧泉帯 **遊牧** ○輸送園芸 ○輸送用機械工業

(よ) ○溶岩円頂丘 窯業 **養蚕** 養蚕地帯 **養殖** ○揚子江気団 ○洋島 ○幼年期 ○寄棟 **羊毛** ○羊毛工業 ○抑制栽培 ○余剰電力 ○横軸投影 ○四大漁場 ○ヨーロッパ経済共同体(共同市場) ○ヨーロッパ経済協力機構 ○ヨーロッパ原子力機構EURATOM ○ヨーロッパ自由貿易連合 ○ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体ECSC **ヨーロッパ人種** ○ヨーロッパ文化圏

(ら) **ライ麦** **らくだ** **酪農** ○落葉広葉樹 ○酪製品 ○落花生 ○ラップ人 ○ラッセル ○ラテライト ラテン族 ○ラテンアメリカ自由貿易連合LAFETA ○ラテンアメリカ文化圏 **ラマ教** ○ラワン ○ランベルト正積方位図

(り) **リアス式海岸** ○リヤノ ○陸水 ○陸島 **陸半球** ○離水海岸 ○立地条件 ○リッター 流下式塩田 ○隆起海食台 ○隆起三角州 流域 ○流出量 硫化鉄鉱 流水 ○流線図 ○領海 ○領空 ○領土 ○臨海圏 ○臨海工業地域 りんご 燐鉱石

(れ) 冷害 冷帯 ○冷帯気候 ○冷帯夏雨気候 ○冷帯多雨気候 **冷帯林** ○冷凍船 ○瀝青炭 ○列村 ○レグール土 ○連合都市 ○レンジナ

(ろ) ○老年期 ○路村 露天堀

(わ) **輪中** 和紙 ○ワロン語 ○ワルシャワ条約機構

地 名 (日本) 道府県名省略

(あ) 相生 愛知用水 会津盆地 会津若松 青島 青森 **赤石山脈** 赤城山 ○赤谷 **阿賀野川** 阿寒国立公園 **秋田** 秋田平野 秋田油田 英虞湾 安積疏水 **旭川** 浅間山 足尾 足利 足柄峠 芦屋 **阿蘇山** 熱海 阿武隈川 **阿武隈山地** **尼崎** 天城山 奄美大島 荒川 有明海 有田川 淡路島 安城

(い) 飯塚 壱岐 ○池田 石狩川 石狩炭田 石狩平野 石巻 伊豆 伊豆諸島 出雲平野 伊勢 伊勢崎 伊勢志摩国立公園 伊勢平野 伊勢湾 板付 ○市川 一宮 ○五日市 厳島 伊東 猪苗代湖 ○今市 ○祖谷 いわき 岩木川 岩国 岩手山

(う) 宇治 有珠山 宇部 浦和 雲仙岳

(え) 蝦夷富士 蝦夷山系 越後山脈 江戸川 エトロフ島 ○江別 遠州灘

(お) 奥羽山脈 近江盆地 ○青梅 大井川 大磯 ○大分 大分平野 ○大口 大阪 大阪平野 大島 大隅半島 太田川 ○大竹 大津 ○大船渡 大嶺 大宮 大牟田 岡崎 岡崎平野 小笠原諸島 男鹿半島 岡谷 岡山 岡山平野 隠岐 沖繩島 沖繩列島 ○奥口見ダム 尾去沢 牡鹿半島 渡島半島 小樽 小田原 小野田 帯広 雄物川 尾鷲遠賀川

(か) 鹿島 霞ヶ浦 金沢 ○金谷 ○兼山ダム 釜石 鎌倉 ○神岡 上川盆地 唐津 軽井沢 川崎 ○香春 関東山地 関東平野 関門海峡 関門海底トンネル

(き) 紀伊山地 紀伊水道 紀伊半島 岸和田 紀勢本線 木曾川 木曾山脈 ○木曾谷 北浦 北上川 北上山地 北九州工業地帯 ○北見 北見山地 ○北見盆地 紀ノ川 吉備高原 岐阜 九州山地 京都 京都盆地 霧島山 桐生

(く) ○串木野 串本 九十九里浜 釧路 釧路炭田 下松 クナシリ島 国東半島 珠磨川 熊野川 熊野灘 熊本平野 倉敷 久留米 呉 黒部川 桑名

(け) 京浜工業地帯 京葉工業地帯

(こ) 江東 高知 高知平野 国府津 江ノ川 ○鴻ノ舞 甲府盆地 高野山 郡山 五ヶ瀬川 ○五家荘 神戸 小倉 児島湖 御殿場 五島列島 ○琴似 ○琴平 小牧 ○根釧台地

(さ) 西海国立公園 ○西大寺 蔵王山 ○坂出 ○境港 酒田 佐賀関 相模川 相模原 酒匂川 佐久間 桜島 篠山盆地 佐世保 佐世保炭田 札幌 薩摩半島 讃岐平野 三瓶山 ○三本木原台地 三陸海岸

(し) ○椎葉 塩釜 潮ノ岬 四国山地 シコタン(色丹)島 支笏湖 支笏洞爺国立公園 四阪島 静岡 信濃川 ○士別 ○島田 志摩半島 清水 下北半島 下田 ○下津 下関 修善寺 周南 ○庄川 常山溪 小豆島 庄内平野 湘南 常盤炭田 ○白川郷 シラス台地 不知火 白根山 白浜 知床半島 新宮 ○神通川

(せ) 瀬戸 瀬戸内海 瀬戸内海国立公園 川内 仙台平野

(そ) 層雲峡

(た) ○鯛生 ○大社 大雪山 大雪山国立公園 大山 高岡 高田平野 田川 ○田子倉ダム 太宰府 田沢湖 但馬 多治見 只見川 立川 竜野 田辺 多摩川 丹那 丹波山地

(ち) 筑後川 筑豊炭田 ○千島列島 知多半島 ○秩父 ○千歳 茅野 千葉 中国山地 鳥海山 鳥海火山帯 銚子 ○調布 中京工業地帯

(つ) 津 津軽半島 津軽平野 筑紫山地 筑紫平野 対馬 津山

(て) 天塩川 天塩山地 出羽山地 天竜川

(と) 東海村 洞海湾 東京 ○東京湾 東名高速道路 洞爺湖 十勝川 十勝平野 徳島 徳島平野 徳山 土佐清水 ○十津川 鳥取海岸 鳥取平野 利根川 戸畑 苫小牧 ○砺波平野 富山 豊田 ○豊中 ○豊羽 豊橋 十和田湖

(な) ○直島 長崎 長野盆地 ○仲洞爺 中山道 長良川 名古屋 那須火山帯 ○灘 那智勝浦 那覇 名寄盆地 奈良 奈良盆地 ○成田 鳴門 南西諸島

(に) 新潟 新潟平野 新潟油田 新居浜 西宮 日南 日光 日光国立公園 日橋川 日本海溝 人形峠

(ね) ○根室 根室本線

(の) 直方 直方平野 能代平野 野田 延岡 登別 乗鞍火山帯

(は) 博多 白山 白山火山帯 函館 函館本線 箱根山 八王子 八戸 八郎潟 八甲田山 ○花岡 羽田 ハボマイ(歯舞) 浜名湖 浜松 榛名山 阪神工業地帯 磐梯山 ○飯能

(ひ) 日高山脈 飛騨山脈 日立 美唄 姫路 姫路平野 日向 ○枚方 平戸 弘前 広島 ○広島湾 琵琶湖 備後灘

(ふ) 福岡 福岡平野 福島 福島盆地 福知山盆地 富士 富士五湖 富士山 富士火山帯 富士箱根国立公園 富良野盆地

(へ) 別子 別府

(ほ) 房総半島 細倉 北国街道 穂高 穂高岳

(ま) 舞鶴 前橋 牧ノ原台地 枕崎 松江 松尾 松島 ○松島湾 松本盆地 ○松山

(み) 三池炭田 三浦半島 ○三面 三国山脈 三崎(三浦市) 水島 水戸 水俣 ○身延 ○三原 ○御母衣ダム 宮古 宮古島 宮古諸島 ○宮崎平野 宮島 妙高山 三次

(む) ○武蔵野 武蔵野台地 室戸 室蘭

(め) 名神高速道路 ○米良荘

(も) 最上川 門司 ○茂原 盛岡 ○紋別

(や) 焼津 八重山諸島 屋久島 屋久島国立公園 屋島 八ヶ岳 八代 柵原 矢作川 八幡 山川 槍ヶ岳

(ゆ) 夕張 夕張山地

(よ) 横須賀 横手盆地 横浜 吉野 吉野川 吉野熊野国立公園 四日市 ○四倉 淀川 米子 米沢盆地 米代川 ○寄居

(ろ) 六甲山

(わ) 若狭湾 若松 和歌山 輪島 稚内

地 名 (外国)

(ア) **アイランド** ○アイマイデン **アイルランド** **アクラ** ○**アクロン** ○**アサンゾール** **アジスアベバ** **アスワンハイダム** **アッサム** **アテネ** ○**アデレード** **アトラス山脈**
○**アトランタ** ○**アナトリア高原** ○**アナコンダ** ○**アバジーン** **アパラチア山脈** **アパラチア炭田** **アフガニスタン** ○**アペニン山脈** **アマゾン川** **アム川** **アムステルダム** ○**アムール川** ○**アーメダバード** **アメリカ合衆国** **アラスカ** ○**アラバマ** **アラビア半島** ○**アラビア高原** **アラフラ海** **アラブ連合共和国** ○**アラル海** ○**アリュージョン列島** ○**アルザス** **アルジェリア** **アルゼンチン** ○**アルタイ山脈** ○**アルバータ** ○**アルバ島** ○**アルハンゲリ**
スク **アルプス山脈** **アレキサンドリア** **アングラ川** **アンシャン** **アンデス山脈** **アントワープ** **アンベルス**

(イ) ○**イエナ** **イギリス** **イタリア** **イタリア半島** ○**イベリア高原** **イベリア半島** **イラク** **イラワジ川** **イラン** **イラン高原** **イリアン** **イルクーツク** **インダス川** **インド** **インド半島** **インドシナ半島** **インドネシア**

(ウ) **ウィニペグ** **ウィーン** ○**ウィンストンサレム** **ウェーク島** **ウェリントン** ○**ウェールズ** ○**ウガンダ** **ウクライナ** **ウーハン** ○**ウーファ** ○**ウラジオストク** **ウラル山脈** **ウルグァイ**

(エ) ○**エクアドル** ○**エーゲ海** **エチオピア** **エッセン** ○**エドモントン** **エニセイ川** **エレベスト山** ○**エルサルバドル** **エルサレム** **エルベ川**

(オ) **オアフ島** **オークランド** ○**オークリッジ** **オーストラリア** **オーストリア** **オスロ** **オタワ** **オビ川** ○**オマハ** **オランダ** ○**オリッサ** **オリノコ川**

(カ) ○**ガイアナ** **カイロ** **カイロワン** **カスピ海** **カタンガ** ○**カトーピツエ** **ガーナ** **カナダ** ○**カナリア諸島** ○**カフカス** **カフカス山脈** **カムチャッカ半島** ○**カメルーン**
○**カヤオ** **カラガンダ** **カラクム砂漠** **カラクム運河** ○**カラコルム山脈** **カラチ** **カラハリ砂漠** ○**カリバダム** **カリフォルニア** ○**カルフォルニア油田** ○**カリフォルニア盆地** **カリブ海** **カルカタ** **カルゲーリ** ○**カルパート山脈** ○**カールマルクスシュタット** **ガルベストン** ○**ガロンヌ** ○**カンザスシチー** **ガンジス川** ○**カントン** **カンヌ** ○**カンボ** **カンボジア**

(キ) **ギアナ高原** ○**キト** **ギニア湾** **キャンベラ** **キューバ** ○**キュラソー島** ○**ギリシラ** ○**キルクーク** ○**キルナ** **キンバリー**

(ク) ○**グアテマラ** **グアム島** **クアラルンプール** ○**クイビシェフ** **クウェート** **クズネック** **クズバス** ○**グダニスク** **クラカウ** **グラスゴー** ○**クラスノヤルスク** ○**グランチャコ** ○**グランドクーリーダム** ○**グランドバンク** **クリーブランド** **クリボイログ** ○**グリムスビー** **グリーンランド** **クールガージ** ○**グルノーブル** ○**グレイアムランド** ○**グレートフィッシャーバンク** ○**グレートヤーマース** **クレムリン** ○**グロスター** **クンルン山脈**

(ケ) **ケーソンシチー** **ケニア** ○**ケープ州** **ケープタウン** ○**ゲーリ** ○**ゲリバラ** ○**ケルチ** ○**ケルン** **ケンタッキー**

(コ) ○ゴア 黄河 黄海 ○コスタリカ 五大湖 ○コタバル コペンハーゲン ○ゴ
リキー コロラド川 ○コロラド高原 コロンビア川 ○コロンビア高原 ○コロンビア盆地
コロンボ コワンチョウ コンゴ コンゴ川 ○コンゴ盆地

(サ) サイゴン サウジアラビア ○サウスカロライナ ザクセン工業地帯 ○サドバリー
サバ サハラ砂漠 サハリン サモア諸島 ○サヤン山脈 サラワク ザール ○サンジェゴ
○鑽井盆地 サンチャゴ サントス サンパウロ ○サンピエール島 サンフランシスコ
○ザンベジ川 ○サンペドロ ○サンメンシャン

(シ) シアトル シーアン・ジェノバ ○シェンシー省 ○シエンヤン シカゴ ○シトカ
シドニー ジナルアルプス山脈 ジブラルタル シベリア ○シムラ ジャカルタ ○ジャマ
イカ島 ○ジャムシェドプール ○シャルロア ジャワ島 シャンシー省 シャンハイ
○シャンパーニュ ジュネーブ ○ジュラ山脈 シュレジェン ○ジョージア ○ショードホ
ン ○シル川 シンガポール ○シングブーム シンチャンウイグル自治区

(ス) スイス スウェーデン スエズ運河 スカンジナビア山脈 ○スコットランド ○ス
タッフルト ○スーダン スーチョワン省 ストックホルム ○ストラスブール スパール
バル(スピッツベルゲン) スペイン ○スペリオル湖 ○スベルドロフスク スマトラ島
○スライマン山脈 ○スリガオ ○スリナム ○スリメダシ ○スンダ列島 ○ズングン ス
ンガリ川

(セ) セイロン セーヌ川 セルバ ○セントジョンズ ○セントルイス セントローレン
ス川 ○セントローレンス水路

(ソ) ○象牙海岸 ソウル ソビエト連邦 ○ソンコイ川

(タ) タイ ターイェ 大韓民国 大シンアンリン山脈 タイペイ ○大盆地 台湾 ○タ
オチョン タシケント ○ダージリン ダーバン ○ダモダル川 ○ダモダル炭田 ○ダーリ
ング川 ○タラカン ○ダーラン ○ダルース ○タンピコ

(チ) チェコスロバキア ○チェサピーク湾 ○チェリャビンスク チグリス川 チベット
高原 中央アフリカ 中華人民共和国 中華民国 ○チュー川 ○チュキカマタ チュニジア
朝鮮民主主義人民共和国 チョンチン チリ ○チンタオ ○チンボーテ 中国 朝鮮

(ツ) ○ツーロン

(テ) テカン高原 テキサス デトロイト テネシー川 テムズ川 テンシャン山脈 テン
チン テンマーク

(ト) ドイツ民主主義共和国 ドイツ連邦共和国 ○ドッガーバンク ドナウ川 ドニエプ
ル川 ○ドニエプルコンビナート ○ドニエプロペトロフスク ドネツ炭田 ○トリエステ
○トリニダード島 トリノ トルコ ○ドルトムント トロント ○ドン川 ○トンキン ド
ンバス

(ナ) ○ナイジェリア ナイル川 ナイロビ ナウル島 ナポリ ○ナミュール ○ナルビ
ク ナンキン ○ナンシー 南極

(ニ) ○ニカラグア ○ニコライエフ 西インド諸島 ニジュール川 ニース ○ニューア
ーク ニューイングランド地方 ニューオーリンズ ニューカッスル ニューカッスル ニュ

ーカレドニア島 ニューギニア島 ニューゼーランド ニューテリー ニューファウンドランド ニューヨーク

(ノ) ○ノースカロライナ ○ノボクズネツク ○ノボシビルスク ノルウェー

(ハ) バイエルン盆地 バイカル湖 パオトウ ○バギオ パキスタン バクー ハーグ
バクダッド バージニア ○バーゼル バチカン ○バッファロー ハドソン川 パナマ運河
パナマ地峡 バニヤス ○ハノーバー ハバナ ハバロフスク パミール高原 バーミンガム
○パラグアイ パラナ パリ ハリコフ パリ盆地 ○ハリファックス ハル バルカン半島
バルト海 ハルビン ○ハレ ○パレンバン ハワイ バンカ島 ハンガリー バンクーバー
バンコク ○パンジャブ ハンチョウ ○バンドン パンパ ハンブルク 万里長城

(ヒ) 東インド諸島 東シナ海 ○ビスケー湾 ○ビスビー ビッツバーク ○ビハール州
ヒマラヤ山脈 ○ヒューストン ○ビュート ピョンヤン ○ビリトン島 ビルバオ ビルマ
○ビンガム ○ピンシャン ○ヒンズクシー山脈 ○ビンタン島 ヒンドスタン平原 ビレネー
ー山脈

(フ) フィラデルフィア フィリピン ○フィリピン海溝 ○フィレンツェ フィンランド
フェゴ島 ○ブエノスアイレス プサン フーシュン ブダペスト ○フーバーダム ブラジ
リア ブラジル ブラジル高原 ○ブラーツク ブラハ ○プラマプトラ川 ○フランクフル
ト フランス ○ブリスベーン ブリュッセル ○プリンスルパート ○ブルガリア ○ブル
ターニュ ○ブルネイ ○フレザー川 プレトリア ○ブレーメン ○ブレヤ プレーリー
○プロックラフ フロリダ半島 フナム

(ヘ) ベオグラード ベキン ベスビオ山 ベトナム共和国 ベトナム民主共和国 ○ベナ
レス ベニン山脈 ベネズエラ ベネチア ペルー ベルギー ○ベルゲン ペルシア湾
ヘルシンキ ベルホヤンスク ベルリン ベルン ○ベンガル ○ペンシルベニア炭田 ○ペ
ンチー

(ホ) ポー川 ○ボコタ ポストン ポタニー湾 北海 ボツ海 ○北極海 ○ポートラン
ド ホノルル ○ボヘミア ボヘミア盆地 ポーランド ポリビア ボルガ川 ○ボルガーウ
ラル油田 ボルガードン運河 ○ボルダ川 ○ボルゴグラード ボルチモア ボルドー ポル
トガル ボルネオ島 ホワイ川 ボン ホンコン ホンジュラス ボンベイ ホーン岬

(マ) ○マイアミ ○マインツ ○マグデブルク マグニトゴルスク ○マース川 マゼラ
ン海岬 マッケンジー川 マドラス マドリッド マナスル山 マニラ マライ諸島 マライ
半島 ○マラカイボ湖 マラッカ海峡 ○マライシャ ○マリアナ海溝 マルセイユ マルタ
島 ○マーレー川 満州 マンチェスター

(ミ) ミシガン湖 ミシシッピ川 ○ミズーリ川 ○ミドルスブラ ○ミナスゼラエス 南
アフリカ共和国 ○ミネアポリス ミュンヘン ミラノ ○ミルウォーキー ミンダナオ島

(ム) ○ムルマンスク

(メ) メキシコ メキシコシチー メキシコ湾 ○メキシコ湾岸油田 メコン川 ○メサビ
○メセタ メソポタミア メッカ ○メッツ ○メドック メナム川 メルボルン

(モ) モスクワ ○モスル ○モーゼル川 モナコ ○モラフスカオストラバ ○モレンシ

一 モロッコ モンゴル高原 モントリオール モンロビア

(ヤ) ヤールー川

(ユ) ユイメン ○ユカタン半島 ユーゴースラビア ユーフラテス川

(ヨ) ヨークシャー 揚子江 ヨハネスバーグ ヨーロッパ平原

(ラ) ライプチヒ ライン川 ラオス ラサ ラスパルマス ○ラパス ラプラタ川 ラブ
ラドル高原 ラホール ラワルピンジー ランカシャー ランゲーン ランチョウ

(リ) ○リウチャシヤ リエージュ リオデジャネイロ ○リガ リーズ リスボン リバ
プール ○リビエラ リベリア リヤオ川 リヤノ リュイター リヨン ○リール

(ル) ルオヤン ルクセンブルク ルソン島 ルーマニア ルール ○ルレオ

(レ) ○レイキャビク レナ川 レニングラード

(ロ) ○ロサリオ ロスアンゼルス ロシア平野 ○ロストフ ロッキー山脈 ○ロツテル
ダム ローヌ川 ローマ ○ロレーヌ ○ロンイエン ○ロングビーチ ロンドン ○ロンド
ン盆地 ロンバルディア平原

(ワ) ワシントン ワルシャワ

中学校教科書：「日本の国土と世界・新編」（清水書院）

高等学校教科書：「地理B」（中教出版）